

平成30年第13回大田市教育委員会定例会会議録

平成30年12月25日午後3時00分、大田市教育委員会事務局において、第13回大田市教育委員会定例会を開催した。

1. 開会及び閉会

開 会 平成30年12月25日 午後3時00分

閉 会 平成30年12月25日 午後4時52分

2. 出席委員の氏名

教育長 船木三紀夫

委 員 竹下ちとせ 仲野義文 梶 伸光 福間信隆 木村貴子

3. 欠席委員の氏名

委 員 なし

4. 傍聴人

なし

5. 委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

川島教育部長 森本総務課長 和田学校教育室長 和田学校教育室主査
田村学校給食センター長 霊山社会教育課長 遠藤石見银山課長
後藤人権推進課長 松本総務課長補佐

6. 開 会

船木教育長開会を告げ開会

(1) 第12回の会議録について

- 教育長 第12回の会議録について、訂正箇所等あればお願いします。
- 仲野委員 10ページの私の発言の3行目、「地域性が議論の中に現れていて良かったと思いました。」を「地域性が議論の中に現れていた点です。」へ、その下から6行目、「実際これをどういう風に」を「今回出てきた意見を今後どのように」へ、そこから7行目、「子どもも地域社会の一員として地域にどう風」を「子どもも地域社会の一員として地域にどのように」に訂正をお願いします。
- 梶委員 9ページ下から5行目、「下の友達が」の「下の」と「友達が」の間に「行に書いてある、」を入れて下さい。
- 竹下委員 12ページ上から5行目、「こういった事も取り入れる必要の」となっていますが、「こういった事も取り入れる必要が」に訂正して下さい。
- 福間委員 5ページからの私の発言ですが、多数訂正箇所があるため、訂正したものをお渡しします。
- 教育長 その他訂正箇所等ありませんか。
- 委員 (なし)
- 教育長 以上を修正のうえ、第12回の議事録については承認とさせていただきます。

(2) 教育長の報告について

- 教育長 経過報告に入ります。先月は11月26日に定例教育委員会を開催しておりますので、それ以降について報告させていただきます。
- 27日生徒との懇談会を西中で開催しました。懇談会はこの日から始め、既に全ての中学校で終了しております。内容につきましては、後程報告いたします。
- 28日政策企画会議。平成31年度人事異動に向けての校長面接を28日、29日の2日間実施しました。
- 29日木村教育委員の辞令交付を市長室で行いました。
- 30日政策企画会議、消防訓練がありました。
- 12月1日リレー万葉公演会が開催されました。
- 3日から17日まで12月の市議会定例会が開催され、6日、7日に一般質問が行われました。

8日山村留学センターの説明会を広島、博多で実施しました。

9日ふれあいフェスティバルおおだが開催され、人権作文等の発表がありました。

10日12月の障がい者週間等に合わせ、人権推進課のふれあいフェスティバルが開催されました。同日、山村留学センターの説明会を大阪、東京、市内で実施しました。

10日市議会の総括質疑が行われました。同日生徒との懇談会を志学中で行いました。

11日市議会の総務教育委員会が行われ、12月の補正予算等を審議いただきました。

12日教育委員会事務局等勤務教職員人事ヒアリングが県教育庁でありましたので、私が参加しました。同日石見銀山保全審議会を開催しました。

13日、18日教職員人事異動についての校長面接を浜田教育事務所長と共に行いました。

14日生徒との懇談会を三中で行いました。同日特殊詐欺防止キャンペーンが実施されました。

15日熊谷家で「冬にまなぶ」が実施され参加しました。同日「石見銀山街道を歩こう」が世羅町で開催されました。

16日石見銀山文献調査検討会が古代出雲歴史博物館で実施されました。

17日議会が閉会となりました。

19日生徒との懇談会を二中で実施しました。同日新年度の予算について市長説明を行いました。

20日市役所4階で鈴木賞の表彰式を行いました。

21日最後となる生徒との懇談会を北三瓶中で行いました。

25日本日ですが、今年最後の政策企画会議と行革推進本部会議が開催されました。行革推進本部会議では、来年10月の消費税増税に関して、市の使用料手数料が改訂されますので、その件について協議がされました。

以降今月の予定ですが、27日に新年度予算について、財政課のヒアリングが実施予定です。

28日は仕事納め式があります。

来年につきましては、4日に仕事始め式、賀会、成人式が開催予定ですので、よろしくお願ひします。

教育長 以上ですが、質問等ありませんか。

委員 (なし)

教育長 では経過報告については以上で承認ということに致します。

(3) 議題

教育長 それでは議題に入りたいと思います。議題45号学校規模・配置について(方針骨子案)は非公開とさせていただきます。

非公開案件は関係者のみとさせていただきます。

議題46号大田市幼児期通級による指導事業について、学校教育室からお願いします。

和田室長 大田市幼児期通級による指導事業についての資料をご覧ください。大田市の通級指導教室については、小学校、中学校にあります。小学校は久手小と仁摩小に拠点を置いています。中学校は二中に拠点を置いて通級指導教室を実施していますが、これを幼児期にまで広げていこうという考えです。大田市教育委員会としては相談支援チームを組みながら、にこにこ巡回訪問として小学校就学前の幼稚園、保育園へ、子どもの気になる事があればということと回っています。非常にニーズが高いという現状を踏まえながら、幼児期通級にまで踏み込んで行くべきと判断したことが背景です。目的、内容については資料のとおりです。対象については市内の保育所、認定子ども園、幼稚園に在籍する3歳から5歳児ですが、当面は5歳児を中心として実施します。指導体制が軌道に乗れば、対象を広げることとしており、在宅児についても広げていければと考えています。場所は久手幼稚園の空き保育室を利用する予定です。担当者は幼稚園教諭1名、保育士1名の2名体制の予定です。利用方法については資料のとおりです。指導形態については個別指導を基本としています。対象の子どもは、保護者が通級指導教室に送迎することとしていますが、保護者の送迎が困難な場合には、巡回による通級を検討することとしています。利用に係る費用については、保護者負担はありません。今年度の相談件数から考えますと、利用見込みにつきましては30名程度を見込んでいますが、担当者が1名体制の場合は15名程度で実施することになります。予算については資料のとおりです。指導開始に向けて今後他市への視察、施設整備、関連文書作成等準備を整え、5月上旬開始を目指します。

教育長 ご質問等ありますか。

木村委員 対象は発達障がいの方ですか。

川島部長 対象者は色々です。

木村委員 保護者は検査を受けませんかと急に言われた場合、認め、受け入れる事に抵抗があります。けれども、早期に見つけて早めに対処することで社会に順応できるようになると思います。

教育長 学校に入学して年数が経ってからの対応は難しいので、幼児期からそういった対応をとる事で、小学生、中学生になってから違ってくると思います。ただ保護者が理解することは難しいと思います。

和田室長 保護者が理解することが最大のハードルだと思います。それほどの年齢でも一緒です。そういった意味でも、今実施している就学前の巡回訪問は、子ども達を見て回ることも大事ですが、出かけた先での先生たちもそういった視点を持ってもらうことも重要です。保護者に対してどういった言い方が良いのか、ケアをするための訪問だと思っています。

梶委員 幼児期からのこういった取り組みは、大事な支援だと思います。担当者は専任の方の配置ですね。

和田室長 はいそうです。

川島部長 県内ではどこが実施されていますか。

和田室長 松江市、雲南市、出雲市です。西部では初めてです。

教育長 他に何か質問がありますか。

委員 (なし)

教育長 ではこの件については承認ということにいたします。

教育長 続きまして日程の5. その他報告事項です。中学生との意見交換会についてですが資料は用意していません。中学校6校各1時間ずつ私と、学校からは生徒だけの出席で実施いたしました。学力向上の関係で、如何にしたら子ども達の学習面が向上していくのかということ、これまで何年もやってきていますが、十分な成果が上がっていません。大人達が思っている事と、子ども達が求めていることがずれているのではないかという事で、子ども達の本音を聞きだすことができればということで6校を回りましたが、結果的には今回の意見交換会に出てきた子ども達の多くは、生徒会の役員をしている子ども達でした。北三瓶と志学は人数が少ないので、3年生が全員参加でしたが、他の学校は生徒会の会長、副会長等役員をしている子どもでした。色々聞く中で、どの

学校でも意外だなと思った事は、理数系の科目が好きで、得意だという子が多かったことです。受験前だという事もあります、平日塾も含めて3時間程度勉強しているという事でした。多い子は6、7時間勉強しているという子もいました。そして将来どんな高校へ行って、こういった事がやりたいといった進路を、きちんと考えている子どもが多くいました。踏み込んで学校の先生はどうかといった事も聞かせて頂きましたが、子ども達は一方的に教える先生は好きではなく、授業の中にユーモアを交えながら、上手に授業を組み立ててくれる先生が好きだし、そういった先生が教えてくれる科目は好きで、得意だという子が多かったです。そういった意味では、教師の指導力が大分影響している事が分かりました。また、先生や親に言われるから勉強しているといった子は少なかったです。将来的な夢を持っているので、自分から進んで勉強している子が多かったです。学校によってバラつきはありますが、宿題が少ない学校や、多いといった学校もありました。全体の感想として私が最初思っていたより勉強嫌いな子どもはいませんでしたし、皆素直に話をしてくれましたし、素晴らしい生徒ばかりでした。これにつきましては、1回で終わらずに毎年やっていきたいと思えます。また生徒の選び方も変えたいと思えし、小学校6年生と中学校3年生を対象にできたらと思っています。小規模校の生徒には、現状についてどうかといった問いかけをしましたが、少ない方が先生の目が行き届いて良いと答えた生徒が多かったです。友達関係にしても、大人数だといじめが有ったりして嫌だと答えていました。それに対して、高校に行けば今の何倍もの生徒がいるのだけれどもどうかと聞いたところ、すごく不安だと答えていました。しかし、大規模校に統合された地域から通っている生徒に関しては、多い方が良かったという生徒と、少ない方が良かったという生徒が半々でした。取りまとめたものにつきましては次回報告したいと思います。

続きまして、第2次大田市総合計画につきましてお願いします。

川島部長

事前に資料を送らせて頂きましたが、第2次の大田市総合計画の基本構想が9月に議会の承認を得て策定されています。総合計画につきましては、平成17年の合併後、平成19年度から28年度までの10年間で前の計画が策定され、その後30年度までの2年が延長され、様々な施策に取り組んできました。この度来年

度以降についての総合計画の基本構想を立ち上げました。基本構想につきましては、平成31年度から2026年度までの8年間の構想で、策定が終わっています。それに元づいた基本計画、前期4年と後期4年の内の前期分の実施計画を作成しているところです。具体的には8頁をご覧ください。「子どもたちの笑顔があふれ、みんなが夢を抱けるまち“おおだ”」を市全体の将来像として定め、基本姿勢として、市民が共に主体的に自らの役割を果たしながら創っていく姿勢で臨みましょうということで、「共創」を掲げており、6つの柱建てにしています。教育委員会としては特に2番目の「豊かな心づくり」と言う事で、『ふるさとを愛する「豊かな心」をつくる』を掲げ、取り組むこととしています。9ページの下ところに総括されていますが、一番下に【大切なこと】として、「誰一人置き去りにせず、一人ひとりを大切にし、個性を磨き、豊かな感性を育む教育環境づくり」を挙げ、こういった視点でしっかり取り組むこととしています。先程言いました、来年度からの4年間の基本計画の素案としてA3の大きさの資料を送付させて頂いています。教育委員会所管の「豊かな心づくり」の中で、さらに6つの柱に分かれています。それぞれの柱にめざす姿、現況と課題、取り組みの方向、主な施策の内容、成果指標がまとめてあります。これまで庁内で何回も協議をし、市議会でも特別委員会を3回開催するなどして中身を協議している最中です。今後は来年の3月に議会へ最終報告することになっていて、その間にはパブリックコメント等をされますが、教育委員の皆さんも一度ご覧頂いて、ご意見を頂きたいと思います。

教育長 今後については、2月に特別委員会が有りますので、その後パブリックコメントを実施して、3月議会の全協で報告して終わりという事となる見込みです。教育委員の皆さんの意見を頂いてから、修正を行って、良いものを作りたいと思いますので、よろしくお願い致します。意見につきましては次回の定例会の時でも結構です。何か意見はございますか。

委員 (なし)

教育長 ではこの件については了承ということにいたします。

森本課長 続きまして、エアコン設置につきまして総務課からお願いします。資料を用意していませんので、口頭で説明いたします。エアコン設置についての国の補助金の交付決定が、12月に入ってから参

りました。要望しておりましたほとんどを認めて頂きましたが、校長室、既に設置された部屋の更新については除外となりました。しかし当初から設置することとしていました、中学校54室、小学校142室、幼稚園8室、計204室にエアコンを設置することとし、補正予算を1月の臨時市議会へ諮る事として進めているところです。

教育長 交付金は充たりませんが、校長室については市の単独経費で設置しようと財政課と協議中です。

森本課長 ちなみに補助金が付く部屋は、中学校50室、小学校131室、幼稚園8室の計189室分です。総事業費は5億1千5百万円余りの予定です。議会の議決後入札手続きに入り、2月の中旬には工事着工し、5月末完了を目指したいと思っています。

川島部長 いくつかの業者に分けて発注し、工事も学校と事前に話をし、平日の授業を調整しながら進めて、間に合わせたいと思っています。

財源としては概ね6分の1が国の補助金で、6分の5が一般財源となり、市の借金となります。

教育長 続きまして、平成31年大田市成人式について社会教育課からお願ひします。

霊山課長 資料をご覧ください。1月4日金曜日に行います。今回の該当者は347名です。10時から受付開始で、10時半からのアトラクションを行い、11時式典開始となります。今年のアトラクションは、土江子ども神楽団出身OBで、成人者7名を含む有志で神楽を行って頂きます。決意表明者は五十猛町の田中さん、川合町の和田さんです。記念品受領者は水上町の渡利さんです。記念品は石見銀山学習世代という事で、昨年を引き続き、石見銀山WAONカードです。来賓といたしまして三浦衆議院議員、県議、市議会議長、大田、仁摩高校校長先生で、登壇予定者全員出席の報告を頂いています。教育委員の皆様は成人者の後方のお席にお座りください。例年どおり成人者の8割程度、300名の出席を見込んでいます。当日はふるさと学習に取り組んだ世代ということで、ふるさとに関するアンケートを実施予定です。

教育長 ありがとうございます。ご質問等ありますか。

委員 (なし)

教育長 ではこの件については了承ということにいたします。

教育長
遠藤課長

続きまして日本遺産認定について石見銀山課からお願いします。
石見銀山課から日本遺産認定について説明いたします。資料をご覧下さい。日本遺産とは、文化庁と観光庁が一体となって100件を認定して、広くインバウンド対策に備えようとするものです。大田市としては、「石見銀山街道」として沿線の7市町で登録を目指していて、3年目となります。また新たに「火山活動由来の地域資源」ということで、大田市の単独申請することとし、今年新たにチャレンジするものです。経過は資料のとおりです。今後の予定として、年明け1月25日が申請の期限ですので、それまでに申請をいたしまして、認定を受けるのは5月の連休後だと言われています。平成30年度までに既に67件が認定を受けており、31、32年度で33件の認定予定となっていて、非常に狭き門となっています。毎年80件余りの申請が有る中で、この2件をチャレンジしていくこととなっています。申請内容については2ページをご覧ください。石見銀山街道につきましては、石見銀山から瀬戸内の尾道市まで銀を運んだ街道ということで認定を目指すものです。3年目を迎えるにあたり、色々関係機関と協議をしたうえで、もう少し広く石見銀山街道を捉えたらということで、江戸時代以前、戦国時代にありました日本海側の鞆ヶ浦、温泉津・沖泊といった2つの港に行く街道を含めて、その中で特に江戸時代から定義されてきました尾道へ向かうルートを改めて捉え直したストーリーとなっています。

4ページをご覧ください。元々大田市固有の地域資源で、三瓶山の火山由来の素晴らしい資源が有るという事で、これを活用することが出来ないかと、今年の夏頃から取り掛かったものです。火山由来の資源として、三瓶小豆原埋没林、三瓶山の牧野景観、福光の石切場、石見銀山の福石鉱床等があるということで、そこにスポットを当てストーリーを組み立て、初めて日本遺産に申請するものです。こういった地域資源を活かして地域づくりをして行こうと、地域活性化計画を作り、国から有利な補助金も頂けるとい事ですので、それも活用して地域資源を活かしたまちづくりをやって行こうということです。

川島部長

これに加えます、浜田市が中心となって申請するのですが、石見の4市5町で「石見神楽」を題材にしたストーリーで、9市町共同で申請したいという話があるようですので、大田市としては

3つ申請が重なります。

教育長 今までは保存が中心でしたが、活用にシフトする体制ができたという事です。結果につきましては5月の連休明けになる予定です。

教育長 ご質問等ありますか。

委員 (なし)

教育長 ではこの件については了承ということにいたします。

教育長 それでは、議題等は全て終了致しました。次回の定例会は1月24日です。よろしくお願ひします。

以上をもって委員会を閉会した。

以上の会議録は、前回の会議録として承認を終了した。

平成31年1月24日

作成者 総務課長補佐 松本朱美

以上の会議録は、前回の会議録として承認を終了した。

平成31年1月24日

教育長 船木三紀夫

委員 竹下 ちとせ

委員 仲野 義文

委員 梶 伸光

委員 福岡 信隆

委員 木村 貴子